

Acronis Cyber Protectで タタ・スチールはバック アップインフラを最新化 (保護対象のワークロードを 50倍)

インドに拠点を置くタタグループのタタ・スチールでは、
目標復旧時間(RTO)を5日から4～6時間に、
目標復旧時点(RPO)を7日から1日以内に改善



背景

タタ・スチールは、スチールサービスセンターのソリューションを法人顧客に提供するために設立されたインドで初の企業であり、高張力鋼の加工が可能なスチールサービスセンターとしても機能しています。同社は、インド全土に10の大規模加工施設と14の販売・流通拠点を擁し、社外の加工業者やサプライヤーからなる巨大なパートナーエコシステムが構築されています。

タタ・スチールには、全国的なサプライチェーンをサポートするために設計された高度なITインフラがあるにもかかわらず、バックアップは時代遅れの方法で運用されていました。ユーザーは共有フォルダや外付けハードドライブにファイルを保存して、手動でバックアップを実行していました。ワークステーションの障害やデータ損失のインシデントが発生した場合、ユーザーは定期的にスケジュールされたバックアップを実行していなかったため、RPOは平均7日でした。

課題

タタ・スチールは手動でバックアップしていたため、RPOが長期間となりデータを損失する可能性がありましたが、この問題はパンデミックによる在宅勤務への移行により、さらに深刻化しました。同社には、さまざまなワークロードを保護するためのアプローチとツールが複数存在していました。そのため、サポートエンジニアが修復のために現場で問題を解決する必要があり、在宅勤務の要件とは大きく乖離していました。従業員が数日から数週間にもわたって仕事ができなくなることで、全体的なパフォーマンスと生産性が低下するリスクがありました。

主な課題

- 手動によるプロセス
- 長期間のRTOとRPO
- 従業員のコンプライアンスへの依存

主な要件

- 完全なバックアップソリューション
- 自動化と制御
- セキュアなデータセンター

保護されたリソース

- 毎日500以上のワークロードを保護

主なメリット

- 保護対象ワークロードが50倍に増加
- RTOとRPOを大幅に改善
- 従業員への依存からの脱却



ソリューション：ACRONIS CYBER PROTECT

タタ・スチールは、データ保護とサイバーセキュリティを1つのソリューションに統合し、オンプレミスとクラウドのバックアップに対するサポートおよび詳細な復元機能を有するAcronis Cyber Protectが最適なソリューションであると判断しました。単一のポータルによって、同社は個々のファイルをバックアップするだけでなく、システム全体を単一のイメージとしてバックアップすることでワークロード全体を保護できるようになり、柔軟な復元が可能になりました。さらに、Acronis Cyber Protectにより、単一管理コンソールからワークステーションのデータを柔軟に復元、管理できるようになりました。

同社はCommvaultとVeeamも検討しましたが、バックアップが完全統合され、ディザスタリカバリやサイバーセキュリティなどに対して拡張可能であるアクロニスのソリューションを採用することに決定しました。ソリューションを迅速に展開する必要があったため、導入時間も大きな決め手となりました。さらに、アクロニスはインドにデータセンターを保有し、データレジデンシーに関する現地のすべての規制に準拠し、必要となるサイバーセキュリティ認証をすべて取得していたことも重要な要素でした。

技術上およびビジネス上のメリット

アクロニスはタタ・スチールの要件をすべて満たし、運用上極めて大きなメリットを提供することができました。アクロニス導入前は、1日あたり約10回のバックアップが行われ、約10～20のワークロードをカバーしていました。アクロニスにより、このバックアップ数は50倍の1日500回に増加しました。

さらに、RTOとRPOの指標も劇的に改善されました。アクロニス導入前は、RTOは最大5日、RPOは7日、時には数週間となっていました。アクロニス導入後のRTOは4～6時間、RPOは1日以内になりました。

最高情報責任者のラジェッシュ・クマール氏は次のよう

「当社はアクロニスを使って重要なデータを管理できるようになり、もはやユーザーに依存することはなくなりました。アクロニスのプラットフォームの導入により、すでに成果が上がっており、現在は他のアクロニスのソリューションの展開を検討しています」

タタ・スチール、最高情報責任者
ラジェッシュ・クマール氏

に述べています。「アクロニスは、ユーザーが誤ってデータを削除してしまうという、当社で最もよく起こるユースケースに真剣に対処してくれました。また、退職した従業員のデータをアーカイブすることで、Microsoft365の管理にも役立っています」。また、「当社はアクロニスを使って重要なデータを管理するようになり、もはやユーザーに依存することはなくなりました。インドにある認定済みのセキュアなデータセンターに保管することで、いかなる場合でもデータを失うことはない」と確信しています。

さらに、圧縮機能が非常に優れているので、データのダウンロードやアップロードにかかる時間とコストを節約できるようになりました。アクロニスのプラットフォームの導入により、すでに成果が上がっており、現在は他のアクロニスのソリューションの展開を検討しています」とも述べています。

アクロニスについて

アクロニスは、データ保護とサイバーセキュリティを1つのソリューションに統合し、現代のデジタル社会の安全、アクセス性、プライバシー、真正性、セキュリティ（[SAPAS](#)）問題の解として、統合と自動化された[サイバープロテク](#)

[ション](#)を提供します。アクロニスは、サービスプロバイダーやITの専門家の需要に合う柔軟なデプロイメントモデルを用意して、データ、アプリケーション、システムに革新的な次世代のアンチウイルス、[バックアップ](#)、[ディザスタリカバリ](#)、そしてAI応用エンドポイントの保護管理ソリューションなどの優れたサイバープロテクションを提供します。

シンガポールで設立され、スイスに本社を構えるアクロニスは現在、世界34都市に2,000人以上の従業員を擁しています。Acronis Cyber Protectソリューションは、150か国以上の国に26言語で提供され、1万6千社を超えるサービスプロバイダーで利用されており、75万社を超える企業を保護しています。詳細情報：[acronis.com](https://www.acronis.com)